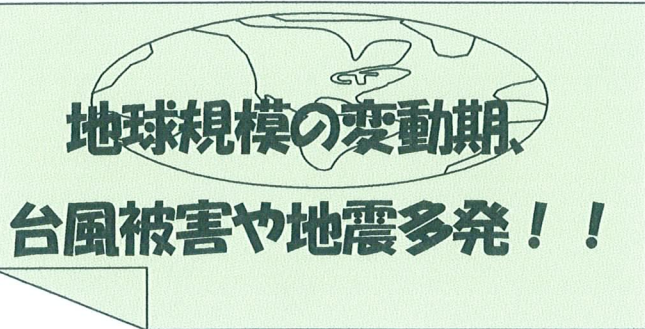


防災拠点ニュース

平成21年8月27日
くぬぎ台小学校
地域防災拠点運営委員会
No.2 通巻66号



8月に入って、風水害が多発し甚大な被害が出ています。台風8号は台湾を直撃して多数の死者と一瞬のうちに土砂が200余の集落をも押し流し、尊い人命が絶たれました。その後の台風9号では、兵庫県の作用町が豪雨に襲われライフラインは崩壊し、また、多くの家屋も押し流されました。

11日には静岡沖地震を震源として、東海地震の前兆かと思われる自信が発生し、自然の驚異に驚愕しました。いま、地球の気象の変動に入り、また、地殻の変動期に入ってきているようです。

私たちの住む東海地震や南関東直下型地震はM7~8、震度7クラスの地震の活動期に入り、いつ起きてもおかしくないと言われています。千葉県震度4、静岡県震度6弱、伊豆八丈島震度5弱等地震が頻繁に起きています。

—地震強化地域の備えが被害を最小限に—

静岡県地方によると東海地震に備え、家庭内での耐震など日頃から対応していることも被害が比較的少なかったと言われています。あなたの家庭の備えは万全ですか、改めて防災を見直しましょう。

防災訓練を目の前にして、緊張が走ります。

防災訓練に 参加しよう!

「協働」・「福祉防災」をテーマにくぬぎ台小学校地域防災拠点の防災訓練を実施します。

と き 10月4日(日)
10時~13時
ところ 小学校校庭

4つのゾーンに別れ、弱者対応訓練、女性の資機材取扱訓練、避難所体験訓練、子供と防災などを予定しています。

班長会議では、
—避難住民の正確さを知るために—

情報班は、毎年避難住民の掌握が上手くいかないのもっと正確にするにはどうすればよいか考えました。入り口で色つきの紙を渡し、残った枚数で避難住民およびボランティア団体の数が判る方式にしました。いろいろな方法を模索し、実践していくことも次に繋げる一歩になるとしました。訓練だからやってみる価値があると思います。

—配給は分け合って食べましょう—

炊き出しによるおにぎり配布は確定した避難者数で自治会町内会に配給しています。後から参加した人の分は自治会で分け合って助け合うのが防災です。

特に弱者となりうる人を優先的に配慮することを忘れないで下さい。弱者という認識は、障害者、高齢者、病気の人、身重の人、乳幼児のいる家庭を対象にしています。

「あなたもいづれは災害弱者」

各班活動の動き

班会議を終え、各班の活動が開始しています。

救護班は、毎年委員が入れ替わりになることを考え、訓練（10月4日）までに何とか実務ができるように月1回応急手当等の実践をすることになりました。

救護班だけではなく、拡大して各単位の自主防災委員会にも呼びかけていくことにしました。



〈本結び・八つ折・膝や骨折の手当て・仕舞い方〉

三角巾に触れたこともない、家庭にもないとい

う方もいます。基礎訓練としてせめて応急手当ができるように頑張りましょう。

資機材取扱訓練

防災拠点が発足して、6月から資機材取り扱い訓練を実施しています。今年の訓練には女性でも扱える重量のある資機材、エンジンチェーンソーを使ってガレキの救出を想定し、タルキを切断しました。参加した女性全員が体験し、エンジンで切り落とすたびに歓声があがりました。

（7月4日）



〈移動式炊飯器の仕組みを覚える〉



〈エンジンチェーンソー、男性がお手本を〉